

# 4、27～29 脱原発東京行動へ！



第10号 100円 編集 「風をよむ」編集委員会  
1090. 4. 10 発行 共産主義者同盟首都圏委員会

## 原子力船「むつ」出力調整実験強行弾劾

きたる4月27日から29日にかけての脱原発東京行動にむけて準備が進められている。全国、各地域からの創意にみちた様々のとりくみを積みあげて、この連続行動を成功させ、90年代の脱原発のみならず、人民のオルタナティブをめざす新しい大衆的政治闘争の巨大なうねりをつくりだそう。  
27日には、脱原発法制定のための請願署名の国会提出などが、そして、28、29日は「原発は地球を救わない」というタイトルで、それぞれ、集会、パレード、コンサートが予定されている。

### 88～90の運動の集約点

いまでもなく、この行動は、88年のわが国におけるオルタナティブともいえるべき新しい大衆運動の政治的登壇をひきつぎ、これを集約する位置を持っている。86年4月、ソ連のチェルノブイリ原発事故から約二年間をへだてた、88年1月から2月にかけて、四国電力伊方原発の出力調整実験反対の高松行動が、大衆の高揚をもつて行われた。この闘いが、女性、10代20代の人々、地域やたばこを媒介としたネットワークという運動主体のありかたの点で、また、「原発やめて、いのちがだいじ」というシュプレヒュールに示されるエコロジカルな主張という点で、そして、非暴力による自己表現というスタイルの点で、新しい大衆的政治闘争の開始を実感させたことは疑いない。もちろん、これに先立つ、様々な闘いや、運動の蓄積の中でこうした転換は徐々に準備されてきたことは事実だし、その運動の連続性と継承性を無視することはできない。だが、高松行動が、出力調整実験反対という、現地における緊迫性をもつて直接行動の中で典型的に表現した

### 多様な経験の政治的総括を

この88年の闘い以後、今日に至るまで、脱原発運動は様々な試みと政治的経験を重ねてきた。廃炉と脱原発社会をめざす世界的趨勢に逆行して、わが国政府と各電力会社は、さらに核廃棄物を山のようにためこみ、原発の増設、核燃料サイクル施設新設を計画している。そのため、高まる脱原発運動と、社会的不安に対して、飛躍的に、原発推進キャンペーンを強めた。しかも、地球温暖化等の一定のエコロジカルな観点をとりこみながら

この間の運動の蓄積を、署名提出によって集約することにとどまるものではない。なにかしらの運動のモニメントとしての位置にとどめてはならない。問われているのは、この行動に結集する諸個人諸団体が、それぞれの経験から政治的教訓をひき出し、今後90年代の運動の1それは脱原発にとどまらず全人民の共生、連帯のオルタナティブをめざす運動をも含む一展望についての提言を様々な示すことである。我々もまた、ささやかではあれこれに寄与しなければならぬ。我々の提言が先験的



な優位性や、特権的地位を占めるものでないことは自明だが、他方では、自からの政治的見解を示す義務があることも一個の革命政党をめざす立場からすると当然である。

### 90年代オルタナティブ政治勢力の形成を

我々の提言は、未だ抽象的なものでしかなく、極めてナイーブなものにすぎない。その第一は、脱原発運動が、エコロジー運動の回路を通じて、一個の大衆的政治運動へと自己刷新をとげるべきだということである。すでに運動主体のレベルでは（全社レベルという点では）脱原発運動がそのシンクル・イン・シュエー型のスタイルに固執する時期は過ぎ去ろうとしている。政治スタイルとして、いわゆる「新左翼」も含め、既存の政治運動のすべてを超えなければならないことはいうまでもないが、だからといって、

この運動が政治的普遍性を獲得する路を進むことを躊躇しなればならない理由はない。この新しい大衆運動がその立場をゆるぎなく、固有の政治内容と政治表現を獲得しなければならぬ。

第二には、そうした政治運動と内容の形成を基礎として、本格的に91年統一地方選への取り組みを準備することである。真剣にこの準備を急がねばならぬ。我々のないうる全ての手段条件をもつて、文字通り全国津々浦々から、当該地域におけるオルタナティブの政治勢力の登場を刻印することである。我々は、4月行動への参加を通じて以上二点を訴える。

## 限界に達したジャパ・システム

## 円安、株価暴落 たそがれの日本経済

### 泡が消え、たそがれが始まる日本経済

年初からの為替、債券、株のトリプル安は、二月総選挙の自民党圧勝にもかかわらず歯止めなく進行、3月19、22日の両日、株価は急落した。この3カ月で、株価は昨年末の高値に比べ26%の下落となり、87年10月、ブラックマンデーの時の21.1%を大きく上回っている。東証一部の時価総額は年初めに比べGNPの1/3に匹敵する約一四〇兆円減りした。日銀の公定歩合引き上げにもかかわらず円安も一段と進行し、一五五円台まで下げた。(3/25現在。以後深刻な下落傾向にある。)

### 膨らみすぎた風船は破裂する

今回のトリプル安は、円安が株安、債券安を連鎖的に引き起こし、進行している。この円安は、直接には、国内に膨大な過剰を蓄積し、それが日本企業の外国企業の買収や不動産の買

日比谷公会堂◎銀座パレード／ス・ワンアリス・フェスティバル／2時間開場・日比谷野外音楽堂  
四月二十九日(日) ノーニーク 堂

### 3・11「日の丸・君が代」反対集会

さらに地域・学校から「新指導要領」反対の声を、



天皇賛美はゴメンだ！「即位の礼・大嘗祭」に反対する共同行動  
四月二十九日午後一時半◎豊島公会堂ホール

### 4・29結成集会

「即位の礼・大嘗祭」に反対する共同行動  
四月二十九日午後一時半◎豊島公会堂ホール

貨はその国の政治、経済、社会の総合力を示す体温計のようなもの(前掲「日経」)なのだ。そうであるとするれば、円安の背景には、80年代を謳歌したジャパ・システムが、国際的、国内的に頂点を達したことが、むしろそのデメリットが浮かびつつあることを示しているといえる。

### ジャパ・システムの転換を

総選挙が終わるや、日米構造協議が本格的段階に入った。今回の構造協議が、今までの日米摩擦と決定的に異なる点は、経済運用のシステムを巡る議論をアメリカがしかけ、それに対し日本が右住左住したあげく80年代型ジャパ・システムの自画自賛、排外主義的な動きを強めていることである。例えば、アメリカのリビジオニスト(修正派)伝統的な日本理解に修正を迫っている(の一人は「日本の企業はわれわれの常識で企業

けた協調の合意ぐらいいかぬが、中間選挙を控えたアメリカがドル高の現状変更を望むわけがなく、実効性の乏しいものにも不調で終わることは確実だろう。

こうした円安、株価下落、高金利の進行は、確実に、景気を後退局面に追い込むだろう。すでに鈍化の兆しを見せていた企業の設備投資がさらに後退することは確実である。円安、原油高、さらに行き場を失いつつある国内の過剰資金によって、インフレへの突入は確実である。財界の春闘の押さえ込みに対し、労働組合本来の機能を果たさない連合は押し切られるであろうから、可処分所得の減少、個人消費の落ち込みは必至である。さらに相対的に「豊かな層」も逆資産効果となり、「シマ現象」は終わり、消費は落ち込んでいくであろう。他方、自動車・電機などの主軸産業の現地生産、多国籍化の進行、アメリカの高金利維持による景気後退、さらに貿易摩擦問題によって、円安による輸出増という現象は過去のものとなつていく。日本経済はどん詰まりの状況に入ったといえる。

GNPの実態から大きく乖離した、土地と株によるマネー・ゲーム、カジノ経済は終わろうとしている。金融と信用の過剰な膨張は、そのつけを払わねばならないのだ。風船はふくらみ過ぎている。水はますます薄くなりつつある。すべての歴史が教えているのは、風船は結局は破裂し、水は破れるということだ。(スウィージー)

が限界に達するなかで、外圧に屈するという形で政策転換を行うおうとしている。だがそれは、現在大きな焦点となっている本店法の廃止(あるいは緩和)一つをとっても、すでに本店法の下で、零細小売店が急速につぶれている事実を隠蔽する効果をもっている。

こうした傾向は、日本経済がたそがれの色合いを濃くするにつれ、ますます強まってくるだろう。今求められていることは、このような(家・会社・国家)を貫くジャパ・システムを根底からくつがえしていくことにはほかならない。

# 3・30総決起集会に八五〇〇!!

## 清算事業団労働者への支援・連帯を

### 大量首切りに怒りの声!

三月三日、「90春闘勝利ノ国鉄清算事業団労働者一五〇〇名の解雇撤回/3・30総決起集会」が、日比谷野外音楽堂で開かれた。主催は、90春闘懇話会と国鉄闘争支援中央共闘会議。国労、都労連を中心とする全国各地から市民団体も駆けつけ、会場からあふれ出すほどの大結集。空前の規模の大量首切りに怒りの声があふれた。

まず第一部では、主催者挨拶カンパは、約一五〇万円を集めた。更にJMIC、民放労連、オリジン電気労組からは、連帯ストライキを打ち抜いたことが報告され、集会を盛り上げた。

第二部は、清算事業団職員という「烙印」のものであつた再就職活動の中で自死した旭川地本青年部の川合くんへの追悼文朗読で幕を開けた。当局の凄惨な攻撃によって死んでいった多くの仲間を無念を熱い闘志に変えて、一人の首切りも許さず、地元Jへの全員復帰、不当労働行為の完全撤廃に向け勝利の声をあげよう。



「90春闘勝利ノ国鉄清算事業団労働者一五〇〇名の解雇撤回/3・30総決起集会」が、日比谷野外音楽堂で開かれた。

## 新生「熱田派」とともに 二期阻止!空港を廃港に!

芝山連合空港反対同盟(熱田派)と変更することとした。これも熱田前代表の功績を同盟員全体で受け継ぎたいと表明したものである。また、菅沢事務局長の辞任に伴い、事務局メンバー全員が一年交替の輪番制で事務局を担当することになり、今年石毛博道さんが当たることになった。

我々もこの同盟の決定を受け、熱田さんの長年の労苦を心にねぎらうとともに、三里塚闘争の団結を守り抜き、「さらば増した支援の力とともに勝利の盃をかたむけ」(熱田さん)という様子なのでしょう。

芝山連合空港反対同盟(熱田派)と変更することとした。これも熱田前代表の功績を同盟員全体で受け継ぎたいと表明したものである。また、菅沢事務局長の辞任に伴い、事務局メンバー全員が一年交替の輪番制で事務局を担当することになり、今年石毛博道さんが当たることになった。

我々もこの同盟の決定を受け、熱田さんの長年の労苦を心にねぎらうとともに、三里塚闘争の団結を守り抜き、「さらば増した支援の力とともに勝利の盃をかたむけ」(熱田さん)という様子なのでしょう。

2月18日、横浜に「女性による女性のための労働組合」が誕生した。「女のユニオン」かながわである。このユニオンは、89年4月から、神奈川の幅広い層の女性たちが女性の自立とすけあいの場として「かながわ・女のスペース」を「みずら」準備会を作ってきたが、そのユニオンプロジェクトから発展したものである。「みずら」正式発足より一足先に労働相談を中心に活動を開始する。

結成大会では結成宣言、活動方針、規約を活発な討議の結果確認し、執行委員8人が選出された。また、当日はおんな組合・関西をはじめ婦人民主クラブ横浜支部や東京の江戸川ユニオン等からも女性の運動にかかわってきた仲間たちが応援に駆けつけた。

## 「女のユニオン」 「かながわ」誕生

女性解放と社会的労働運動形成への実践的な試みとして

このこれまでの労働運動から切り捨てられていた女性労働者。女性であるがゆえに臨時、パートとして景気の調節弁として位置づけられてきた層としての怒りと共に労働運動をなしていくつも、最終的に女のおもいが届かないという不可欠の視点である。

フェミニズム論として活性化された女性解放戦略をめぐる論議に、実践の中から具体的な解放戦略を提起することができるとか、ひとつの試みが開始されたことである。

現在の組合員は「みずら」(準備会)会員であるが、地域に根ざした労働組合として幅広い層に組合参加を呼びかけるため当面は地域ビラ入れ等の情宣活動を計画している。社会的労働運動の形成として女のユニオン、かながわ結成の意義は大きい。今後の活躍に期待したい。

(Y・Y)



「3・25三里塚現地集会」の様子。

一〇五二名の首切り弾劾! 地域から闘いを!

国労は、第四波の全国ストライキをJR当局・JR総連一体となった執拗な妨害行動をはねのけて断固として打ち抜いた。会場から大きな拍手が沸き起こった。

全国の清算事業団の仲間と家族会、そして国労本部を代表して稲田委員長からは、長期戦も覚悟で闘う決意表明がされた。集会は、国労青年部の音頭で団結カンパを三唱して閉会。国労会館前までシブレットコールをあげながらデモ行進した。

「成田治安法」適用攻撃が強まる中で、これをねはね返し、空港を廃港に追い込む決意を示すとともに、熱田前代表の辞任表明を受け、新執行部体制を確立して、90年代の三里塚闘争に向けた新生「熱田派」の決意を確認する集会となった。

熱田前代表は、83年3・8分岐以来、七年間にわたり反対同盟・支援の結集で行われた。この集会是政府・公団による不当労働行為の完全撤廃に向け勝利の声をあげよう。

芝山連合空港反対同盟(熱田派)と変更することとした。これも熱田前代表の功績を同盟員全体で受け継ぎたいと表明したものである。また、菅沢事務局長の辞任に伴い、事務局メンバー全員が一年交替の輪番制で事務局を担当することになり、今年石毛博道さんが当たることになった。

我々もこの同盟の決定を受け、熱田さんの長年の労苦を心にねぎらうとともに、三里塚闘争の団結を守り抜き、「さらば増した支援の力とともに勝利の盃をかたむけ」(熱田さん)という様子なのでしょう。

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

## 沖縄・読谷から

### 「脱復帰」へ・沖縄の新たな流れ

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

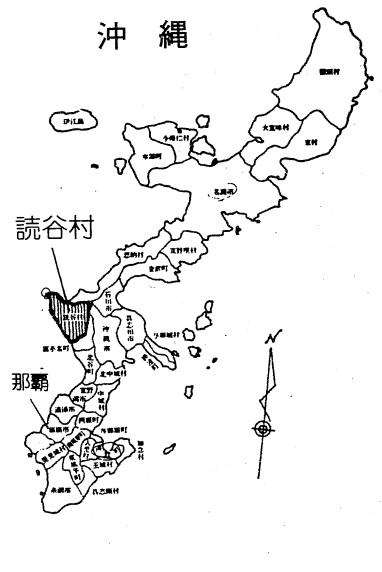
雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、



雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、

雪の山形から、今月はすでに初夏の気候の沖縄へ。沖縄中部の読谷村で農業に従事している新谷村末芳さん(39才)を訪ねた。読谷村では今、サトウキビ、スイカ、菊の収穫と出荷の最盛期。新谷さんのハウスでもスイカの取り入れの最中で、これが終われば次はメロンに入る忙しい時期だが、貴重な時間をさいて、読谷、隣の恩納村、